

凜墨画塾(冬冬水墨画教室)のご案内

★芦屋水墨画教室

—レトロな洋館でとてもいい雰囲気!—

場所:「公益財団法人」芦屋仏教会館3階
交通:JR芦屋駅、阪神芦屋駅徒歩10分、
阪急芦屋川駅から徒歩5分(※駐車場あり)
※水曜日コース、土曜日コース((両コース補講可能)
講座内容:①水墨画の基本技法
②臨模 ③写生 ④創作へチャレンジ
開講日:毎週第2、4水曜日、土曜日
時間:13:00~15:00



★キッズ水墨画教室

＜「親子水墨画教室」も同時開講中!＞

—表現力ある毛筆で絵を始めて、
スケールの大きい作品に挑戦!—

場所:芦屋水墨画教室と同じ

開講日:第2土曜日

時間:15:00~17:00

講座内容:水墨画と書道(筆線の鍛錬も兼ねて)。季節によりスケッチ、創作

★ユニバーサル水墨画教室

(じっくり追究したい方、歓迎!)

—快適で、学ぶ内容の選択も自由!—

場所:「JRユニバーサルシティ」駅から東へ2分

「キングマンション大阪ベイ」204集会室

交通:JR「大阪」駅からゆめ咲線の「ユニバーサルシティ」駅まで約10分。

開講日:第2、第4金曜日

時間:13:00~17:00(4時間)

★大阪素描教室

—水墨画学習に役に立つデッサンコース。

描写力がアップ!—

場所:ユニバーサル水墨画教室と同じ

開講日:第2、第4金曜日

時間:11:00~12:30

※用具:どの教室も用具は保管できます。

硯、絵皿、下敷、筆洗は常設。

お申込み:凜墨画塾 Tel/Fax:06-7492-6958

http://www.midongying-art.com

E-mail: tontonmi@zeus.eonet.ne.jp

その他の教室:

《あべの近鉄文化サロン墨彩の世界》第1、3(金曜日14:00~16:00)

連絡先:06-6625-1771

《京橋水墨画教室》第1、3(土曜日15:00~16:30)

連絡先:06-6358-2828

ニュース:

2014世界女流芸術家ビエンナーレinモンゴル
日本からも数名参加

HER PRESENCE IN COLOURS

www.art-her.com

2014年 7月 19日~26日

モンゴル現代美術館



宓 冬瑩

(ミー・トンイン/Mi Dong Ying)
芸術学博士

愛称は冬冬(トントン)。中国浙江省紹興市生まれ。幼少より絵の手ほどきを受け、中国国立美術大学で中国画を専攻卒。中国国家級画家資格。世界女流画家理事会日本分会会長。全日本中国水墨画連盟理事。日本華人華僑文学芸術家連合会理事。中国芸術交流院特聘画家。

1999年来日。芸術学博士号を修得。

2007年、冬冬芸術文化交流協会設立。

2008年、中国政府機関より「中日芸術交流大使」の称号を授与される。宝塚造形芸術大学講師を経て、近鉄文化サロン講師、「凜墨画塾」を主宰。正統的な中国水墨画から現代の感性による新しい水墨画まで、水墨画の真髄を一般に広めながら、2010上海万博日本展示館での個展、奈良平城遷都1300年祭水墨画パフォーマンス披露(2010年)、中国国家非物質文化遺産〈古彩陶磁〉伝承人(人間国宝)藍國華に師事し、景德镇での絵付け制作(2013年)など現代水墨画作家として第一線で活躍。これまでに国内外の美術館、寺院、画廊等で18回の個展を開催。また数多くの国際展に招待出品、入賞。

http://www.midongying-art.com



水墨画のお手本 最新刊!

『水墨画の小径:野菜、果物、季節の花Ⅰ、季節の花Ⅱ』
(各1,500円)



『水墨画の小径:竹、梅、蘭、菊』
(各1,200円)

『水墨画の小径:鳥』
(2,000円)

著書:

『一冊でデッサンをマスター』(2008年)2,000円

『凜・宓冬瑩墨彩画作品集』(2008年)

『澄・宓冬瑩墨彩画作品集』(2009年)

『燦・宓冬瑩墨彩画作品集』(2010年)各1,500円

〈上海万博出版記念出版〉DVD『光凜(こうりん)』

創作の軌跡とミー・トンインのパフォーマンスを収録。完売!

★冬冬芸術文化交流協会

名誉会長:五十嵐 淳(元宝塚造形芸術大学学長)

顧問:李 小林(中国人民対外友好協会会長)

代表:宓 冬瑩

理事:岩見泰子 田口雄一 王 合善

事務局:中井美知子 野村京子 藤本佳姿江 山口三佐子

デザイン:山本一馬

★入会のご案内:Tonton Art Cultural Society

冬冬芸術文化交流協会は、宓 冬瑩(ミー・トンイン)が中心となり、日本と中国相互の芸術に興味を持つ皆様の交流の場として設立しました。そして、私たちは、日本と中国のみならず、文化・芸術を通じてもっと広く世界各国の多くの人々との交流を広め、文化の違いを越えて相互理解と心豊かな世界平和をめざしていきたいと考えています。会員として特典もあります。これからも、より多くの皆様に参加していただきたいと考えていますので是非ご入会ください。

年会費3000円。郵便振替口座00940-7-140257冬冬芸術文化交流協会。

トントン通信

No.8 2013.12

冬冬芸術文化交流協会

〒554-0024

大阪市此花区島屋 6-2-7-1313

TEL&FAX: 06-7492-6958

http://www.midongying-art.com/

E-mail: tontonmi@zeus.eonet.ne.jp



“満園馥郁”(138cm×68cm)

景德镇で絵付け制作





☆日中現代精鋭書画作家展

京都文化博物館

2013年3月7日～10日

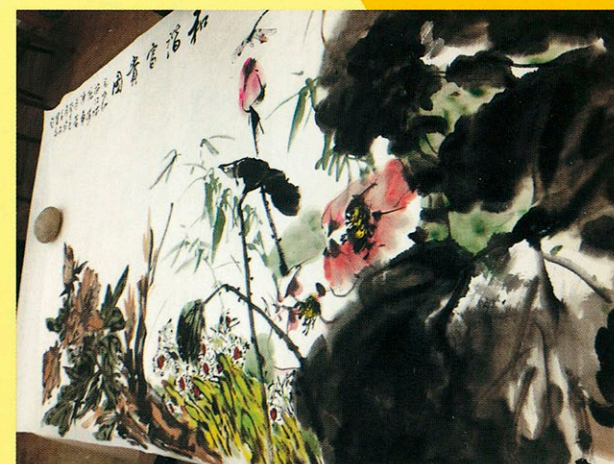
「書と非書の際・日中現代精鋭書画作家展」が冬冬芸術文化交流協会、京都藝際交流協会、中国人民対外友好協会、中国友好和平発展基金会の主催で京都文化博物館6階で開幕。和室大広間3室の会場に展示された現代中国水墨画と日本の現代書画120点余の中央では、多くの来場者が見守る中、日中の作家による制作パフォーマンスが行われました。

☆日中現代書画名人展

東京中国文化センター(港区虎ノ門)

2013年4月2日～5日

「中国現代書画名人展並びに日本書と非書展」が中国人民対外友好協会と日中現代書画名人展執行委員会の主催で開催され、宓冬瑩と書家の協会会員数名も出品しました。初日には、鳩山由紀夫元首相夫妻、李小林中国人民対外友好協会会長、程永華駐日中国大使、近藤誠一文化庁長官ほか大勢の著名来賓臨席で開幕式が行われ、当協会は展覧会の協力団体としてサポートしました。



☆中・日・韓芸術家交流会

(ソウル・韓国)

2013年4月6日～9日

宓冬瑩は東京展の後、訪日中国作家メンバーと共に韓国ソウル、済州島を訪ねて現地芸術家と芸術交流を行い、合作作品を制作しました。



☆蕙馨泌遠・国際女流画家一九華山写生行

(池州市・中国安徽省)

2013年4月15日～22日

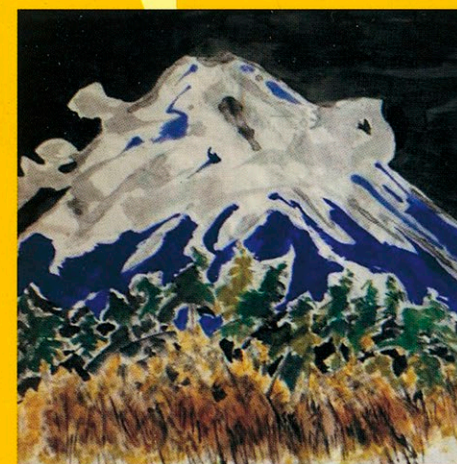
マカオ国際女流画家協会と池州市主催、市政府の招待で中国4大仏教山の一つ九華山を訪れました。8カ国13名の女流画家達と一緒に8日間、写真のような絶景の中を彷徨して取材と現場での写生を愉しみ、意義ある旅となりました。



☆景德鎮で滞在、磁器の絵付制作

2013年5月26日～6月10日

宓冬瑩は中国を代表する千年の磁都景德鎮(江西省)に滞在し、磁板や茶器セットを制作してきました。2週間の滞在制作で茶器などの創作、そして景德鎮の代表的な5つの技法—古彩の国家非物質文化遺産伝承人藍国華教授より絵術の指導を受け、弟子入りすることになりました。磁板作品、青花(呉須)の色の深さ、五彩や、艶があっても俗がない独特な伝統表現などにひかれました。ずっと念願だった陶磁器の絵付けは貴重な経験でした。日本の陶器にも興味が深まり、これからもさらに研究をしていきたいと思いました。



☆山東漢鼎書画院の専属画家に

宓冬瑩は山東省にある「山東漢鼎書画院」から専属画家として招聘され、現地書画院内に常設ギャラリーも設けました。

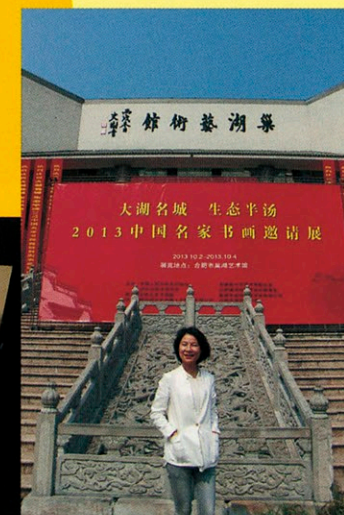
写真は展示作品の一部。
各68cm×68cm

☆中国書画名家招待展

(合肥市・中国安徽省)

9月29日～10月3日

合肥市で開催された「中国名家書画招待展」に招待出展しました。文房四宝(筆、墨、硯、紙)の故郷で名高い安徽省は、黄山風景区も有名で書画愛好者の聖地です。



☆美濃焼祭のトークショー

(多治見市・岐阜県) 10月12日

“第3回美濃焼祭”で催されたトークショー“アートセッション”に、陶芸家で美濃陶芸協会副会長安藤工氏と宓冬瑩が出演、対談しました。今後、二人の陶と絵のコラボレーション作品を作ることで合意しました。